

Business Report

第56期中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

CONTENTS

ごあいさつ
連結業績・財務ハイライト
営業の概況
トピックス
要約連結財務諸表
会社の概要 / 株式の状況

ごあいさつ

Top Message



取締役社長

神原 忠明

皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第56期中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当中間期業績は、前年同期比で大幅な増益決算となり、前中期経営計画から取り組んできた「収益力の強化」に手ごたえを感じる結果となりました。

「縮む・畳む・止める」を合言葉とするポートフォリオの再構築や「ものづくり力の強化による赤字案件の抑制」などの取組みの結果、売上重視から収益重視へのシフトが奏功し、当中間期の実績としてようやく実を結び始めたと感じています。

本年4月より開始した中期経営計画でも掲げたとおり、この収益を「人(社員等)への投資」や「社内インフラへの投資」にも活かす投資サイクルを推し進めることにより、サステナブルな成長の実現に取り組んでまいります。

当社は、SMB Cグループの総合情報サービス会社として、長年にわたり培ってまいりましたIT技術やスキルに一層の磨きをかけ、情報サービスの提供を通じて「社会、お客さま、社員及びその家族、株主の皆さまに必要とされる会社」であり続けたいと存じます。

皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

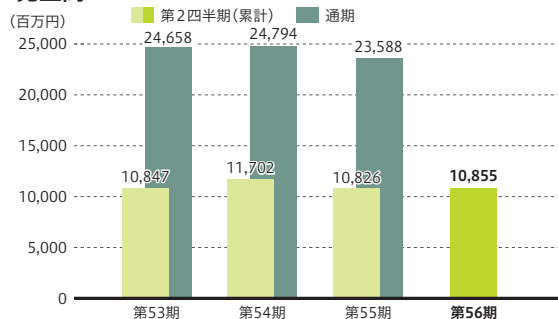
経営理念

- IT価値を提供することにより、社会・お客さまの発展に貢献する。 (社会・お客さまの信用)
- 変化に対応できる強靱な企業体質を構築し、企業価値の向上を図る。 (会社の繁栄)
- 個人価値を自ら向上させ、組織貢献できる社員に活躍の場を提供する。 (社員の成長)

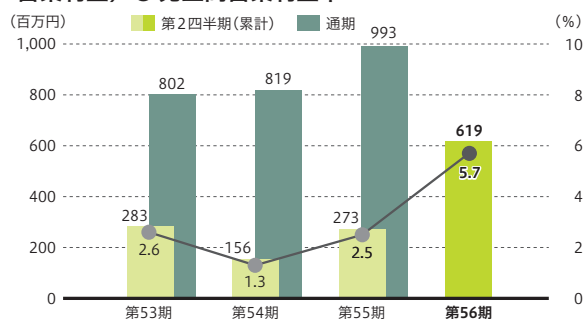
連結業績・財務ハイライト

Financial Highlights

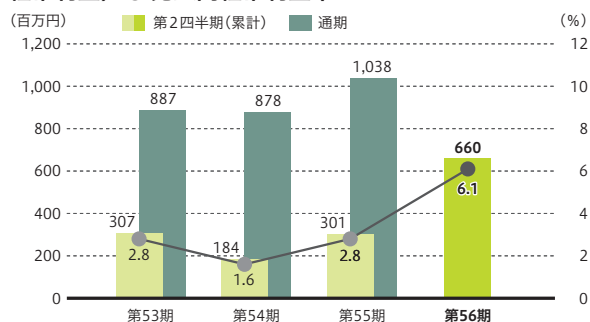
■ 売上高



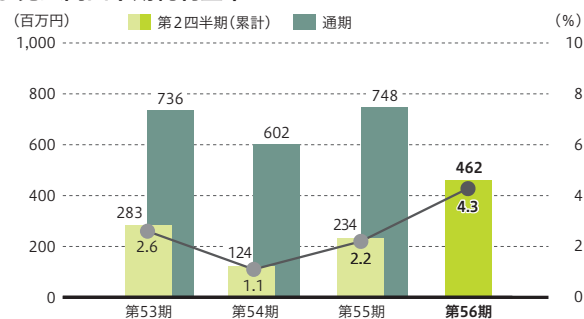
■ 営業利益 / ● 売上高営業利益率



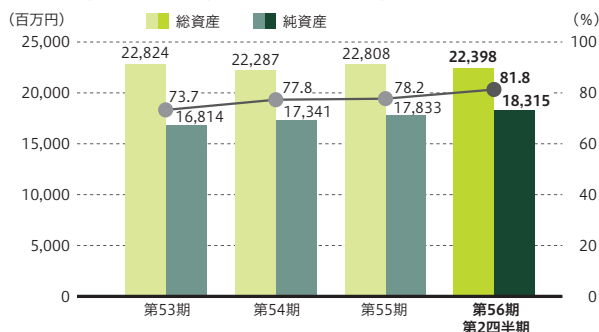
■ 経常利益 / ● 売上高経常利益率



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 / ● 売上高四半期純利益率



■ 総資産 / ■ 純資産 / ● 自己資本比率



「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等並びに、「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）等を第54期の期首より適用しており、第54期以降については、当該会計基準を適用した後の数値等となっております。

営業の概況

Review of Operations

事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、公共関連部門のシステム運用管理やその他情報サービスが減少した一方で、金融関連部門のシステム構築が増加したほか、産業関連部門のシステム運用管理が増加したことなどにより、売上高は、前年同四半期比28百万円(0.3%)増の10,855百万円となりました。

損益面につきましては、前中期経営計画から取り組んできた生産性の向上や品質管理の強化により不採算案件が抑制されたことに加え、低採算案件からの縮小・撤退や利益率の高い案件獲得に注力したことなどにより個々の案件収支が改善しました。その結果、売上総利益率も改善したことから、営業利益は619百万円と前年同四半期比345百万円(126.6%)の増益、経常利益も660百万円と前年同四半期比358百万円(118.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益も462百万円と前年同四半期比228百万円(97.6%)の増益となりました。

連結のセグメント別売上高は、次のとおりです。

なお、2023年4月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より産業関連部門の一部を金融関連部門に、公共関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しており、対前年同四半期の増減及び増減率については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づいて作成しております。

■ 金融関連部門

SMB Cグループ向け取引において、BPO業務量減少などによりシステム運用管理が減少した一方で、大規模プロジェクト等によりシステム構築が増加したことから、売上高は3,447百万円と前年同四半期比76百万円(2.3%)の増収となりました。

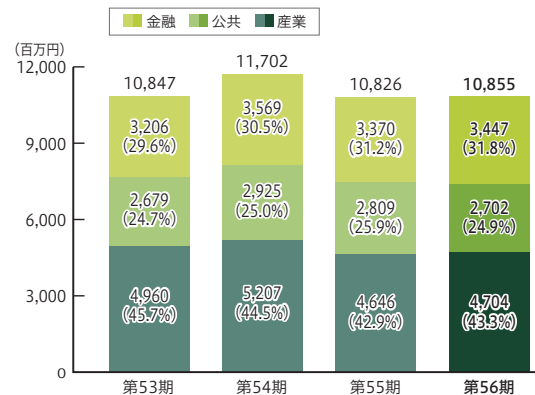
■ 公共関連部門

自治体及び公団体向けの取引減少によりシステム運用管理とその他の情報サービスが減少したことから、売上高は2,702百万円と前年同四半期比106百万円(3.8%)の減収となりました。

■ 産業関連部門

ERPソリューションが減少した一方で、インボイス対応などによりシステム構築が増加したことに加え、アウトソーシング関連案件が堅調に推移した結果システム運用管理も増加したことから、売上高は4,704百万円と前年同四半期比58百万円(1.3%)の増収となりました。

■ セグメント別第2四半期(累計) 売上高推移



- (注) 1. (%)は売上高構成比であります。
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第54期の期首から適用しており、第54期以降については、当該会計基準を適用した後の数値等となっております。
3. 2023年4月1日付の組織変更に伴い、第56期より産業関連部門の一部を金融関連部門に、公共関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しております。なお、第55期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しており、第54期以前については、変更前の区分方法により作成したものを記載しております。

通期業績の見通し

当第2四半期連結累計期間の業績は、期初予想に対して、売上高・損益ともに上方修正いたしました。

通期業績につきましては、売上高は、足元の商談状況の一部に弱さがみられることから、期初予想を据え置いております。損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間において延伸した費用支出等を見込んでいることに加え、個々の案件の採算確保など今後の見通しに未だ不透明な要素を含むものの、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、期初予想を上方修正しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
期初予想 (A)	23,100	820	900	620	55円36銭
修正予想 (B)	23,100	1,020	1,100	760	67円86銭
増減額 (B-A)	—	200	200	140	
増減率	—	24.4	22.2	22.6	
【ご参考】前期実績 (2023年3月期)	23,588	993	1,038	748	66円86銭

※2023年10月25日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した内容のとおりです。

配当の状況

当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期比・期初予想比ともに増収増益となりましたが、「内部留保の充実と安定配当の維持」という基本方針に基づき、中間配当は、期初発表どおりの1株当たり9円といたしました。

また、期末配当につきましても、期初発表どおりの1株当たり9円を維持する方針です。

この結果、年間配当金は、普通配当ベースで前期と同額の1株当たり18円となる予定です。

当社ホームページリニューアルのお知らせ

2023年10月、当社ホームページをリニューアルいたしました。お客さまや株主の皆さまをはじめとするさまざまなステークホルダーに対する情報発信力を強化し、中長期的な企業価値向上を目指す観点から、デザイン・コンテンツともに、全面的に刷新しております。

IRサイトについても、業績ハイライトの拡充や株式情報に関する新コンテンツの追加など、より見やすく、情報を探しやすい構成に一新しました。



新コーポレートスローガンの制定

デジタルの先を想う Support Your Blooming

私たちさくらケーシーエスは、情報サービスを提供していますが、これらはお客さまのビジネスを推進・運用するためのツールに過ぎません。あらゆるビジネスのデジタル化が加速するなか、私たちは、このデジタルの先にいるお客さまを第一とし、お客さまの想い描く未来を実現するパートナーであり続けます。

あわせて、新コーポレートスローガンを制定いたしました。当社は経営理念に「IT価値を提供することにより、社会・お客さまの発展に貢献する」を掲げております。そのなかで、社会・お客さまへお伝えするメッセージとして、当社が事業を通じて実現したいことを表現しています。

今後もIRサイトをはじめたとした当社ホームページを株主・投資家の皆さまとの重要なコミュニケーションツールの一つと捉え、情報提供の充実に努めてまいります。

要約連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	第55期	第56期
	2023年3月31日現在	第2四半期 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	16,750	16,252
固定資産	6,057	6,145
有形固定資産	2,261	2,194
無形固定資産	557	508
投資その他の資産	3,239	3,442
資産合計	22,808	22,398
負債の部		
流動負債	4,258	3,493
固定負債	717	588
負債合計	4,975	4,082
純資産の部		
株主資本	17,049	17,388
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	12,766	13,105
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	784	926
その他有価証券評価差額金	665	835
退職給付に係る調整累計額	118	91
純資産合計	17,833	18,315
負債純資産合計	22,808	22,398

■ 連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	第55期	第56期
	第2四半期 (累計) 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで	第2四半期 (累計) 2023年4月 1日から 2023年9月30日まで
売上高	10,826	10,855
売上原価	8,512	8,051
売上総利益	2,313	2,803
販売費及び一般管理費	2,040	2,184
営業利益	273	619
営業外収益	39	49
営業外費用	11	8
経常利益	301	660
特別利益	38	—
税金等調整前四半期純利益	340	660
法人税等	106	197
四半期純利益	234	462
親会社株主に帰属する四半期純利益	234	462

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	第55期	第56期
	第2四半期 (累計) 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで	第2四半期 (累計) 2023年4月 1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,319	2,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,074	△ 2,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 267	△ 280
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 22	△ 391
現金及び現金同等物の期首残高	7,403	8,428
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,381	8,037

会社の概要 / 株式の状況

Corporate Data / Stock Information

■ 会社の概要 (2023年9月30日現在)

- 商号 株式会社さくらケーシーエス
- 設立年月日 1969(昭和44)年3月29日
- 資本金 20億5,460万円
- 売上高 235億円(2023年3月期連結)
- 事業内容 システム構築、システム運用管理、システム機器販売 他
- 従業員数 1,070名(従業員数は連結就業人員)
- 本社 兵庫県神戸市中央区播磨町21番1
- 東京本社 東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号
- 事業所 大阪、姫路、名古屋
- 連結子会社 株式会社KCSソリューションズ
- 官公庁認定等 電気通信事業者

プライバシーマーク付与認定事業者
ISO 9001(※1)
ISO/IEC 27001(※2)
ISO/IEC 20000(※2)
ISO 22301(※2)

※1：システム事業部

※2：公共事業部 公共BPOサービス部
データセンターセンター運用部/センター企画部 企画グループ

■ 役員

- 取締役社長(代表取締役) 兼 社長執行役員 神原 忠明
- 取締役(代表取締役) 兼 副社長執行役員 加藤 貴紀
- 取締役(社外役員) 乗鞍 良彦
- 取締役(社外役員) 吉井 満隆
- 常勤監査役 井手 淳一
- 監査役(社外役員) 原田 兼治
- 監査役(社外役員) 境 照司

■ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 40,000,000 株
- 発行済株式の総数 11,200,000 株
- 株主数 1,036 名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	3,193	28.51
三井住友ファイナンス&リース株式会社	1,980	17.67
富士通Japan株式会社	1,550	13.84
さくらケーシーエス従業員持株会	963	8.60
水元 公仁	287	2.56
株式会社みなと銀行	166	1.48
SMB Cコンサルティング株式会社	140	1.25
グローリー株式会社	100	0.89
日本生命保険相互会社	80	0.71
兵庫トヨタ自動車株式会社	80	0.71

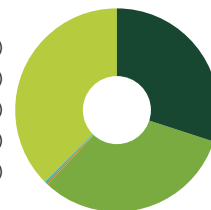
(注) 1. 持株数は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式数(789株)を控除して算出しております。
また、単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 株式分布状況

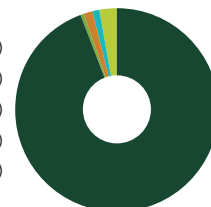
<所有者別株式分布の状況>

- 個人その他 3,378千株 (30.17%)
- 金融機関 3,573千株 (31.91%)
- 金融商品取引業者 28千株 (0.25%)
- 外国法人等 49千株 (0.44%)
- その他国内法人 4,169千株 (37.23%)



<所有者別の株主数>

- 個人その他 976名 (94.21%)
- 金融機関 7名 (0.67%)
- 金融商品取引業者 15名 (1.45%)
- 外国法人等 11名 (1.06%)
- その他国内法人 27名 (2.61%)



株主 メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502
(お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(フリーダイヤル) 0120-094-777
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
- 公告方法 電子公告
以下の当社ホームページにて掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告
できない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。
<https://www.kcs.co.jp/>
- 単元株式数 100株

(ご注意)

- 株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きは、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。
- 中間配当に関する取締役会決議につきましては、以下の当社ホームページにおいてご案内いたします。
<https://www.kcs.co.jp/>

●特別口座に口座をお持ちの株主様のお手続き

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取(買増)請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定 	特別口座の 口座管理機関
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人

●証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
なお、以下のお手続き等につきましては、株主名簿管理人にお問い合わせください。

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人

株式会社さくらケーシーエス

本 社 〒650-0036
兵庫県神戸市中央区播磨町21番1
電話 (078) 391-6571
FAX. (078) 391-7843

東 京 本 社 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号
電話 (03) 5200-1771
FAX. (03) 5200-1774

ホ ー ム ペ ー ジ <https://www.kcs.co.jp/>

